

ヨーグルトサミットを機に市内各分野の青年層が集い、
地域活性化のアクションを起こそうとしています。
プロジェクトを立ち上げていく様子をぜひ取材ください！

生乳生産量と乳牛飼育頭数で茨城県内第1位の小美玉市。全国初の「乳製品で乾杯を推進する条例」を制定し、ヨーグルトの消費拡大・販売促進を行う「ヨーグルトのまち」。市も出資する「小美玉ふるさと食品公社」は数々のコンテスト受賞歴を誇り、アンチエイジング効果が立証されている H61 乳酸菌を使った商品も首都圏を中心に販売を展開しています。

牛乳等の消費が平成に入って以降、減少傾向が続き、生産量も急速に低下している中、国も「乳製品の製造は不可欠」と示し、6次産業化や付加価値創出、農商工連携の再構築を推進しようとしています。

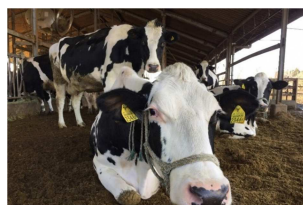
本市としましては、ヨーグルトの消費拡大はもとより、自治体とメーカーの知名度アップを目指し、国の地方創生推進交付金を活用して、全国初となるヨーグルトサミットを開催する運びとなりました。

4月16日に開催実行委員会の第1回会議を行います。そこに企画提案を行うため、市内各分野の青年層が集い、準備委員会を結成して8つのチームに分かれプロジェクトを起こそうとしています。

つきましては、別紙のとおり**第1回準備委員会（チーム別会議）がスタート**しますので、この様子をぜひ取材いただきたく、お願い申し上げます。

■準備委員会8つのチーム

<p>①次世代酪農プロジェクトチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酪農体験型観光企画 ・牧場側の受入体制作り 	<p>②周遊型観光チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内スポット周遊企画 ・体験型観光企画
<p>③ヨーグルト研究交流チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場長等生産者研究会の企画運営 ・講演、事例発表の企画運営 	<p>④ヨーグルトと健康チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーグルトを活かした健康体験企画 ・ヨーグルトの効用・歴史の企画展
<p>⑤四季の里野外企画チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般客対象の体験企画とステージ企画を立案 	<p>⑥グッズチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アート関係者等によるオフィシャルグッズの企画開発
<p>⑦ミュージカルチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーグルトを題材としたミュージカルを企画製作 	<p>⑧広報チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS発信、PV企画製作 ・ヨーグルトに係る人を取材



◇問い合わせ先
企画財政部企画調整課
担当：磯部・中本
TEL0299-48-1111（内線1233）